

平成27年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成28年3月

高崎市（群馬県）

○計画期間：平成26年4月～平成31年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市の中心市街地は、平成26年3月に「第2期高崎市中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、継続した中心市街地の活性化に取り組んでいる。

中心市街地活性化の戦略として高崎駅徒歩圏に整備する「新体育館」、「高崎文化芸術センター」、「群馬県コンベンション施設」のハード事業においては順調に整備が進捗し、新体育館は平成28年度中に完成する予定となっている。高崎文化芸術センターについても平成28年度の着工に向けた準備が整い、整備が本格化することとなっている。また、群馬県コンベンション施設は基本設計や埋蔵文化財調査を行った。

さらに、高崎駅西口と直結する「イオンモール高崎駅前（仮称）」が着工されたことで本市の中心市街地は交流人口が大きく増加する新しい都市構造に変化しようとしている。

これら、交流人口の増加を見込み、来街者を中心市街地全体へ波及させるための事業としては、賑わいと回遊性の向上を目的に実施している「高崎まちなかオープンカフェ推進事業」や「高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業」、個店の魅力や集客力を高める「高崎市まちなか商店リニューアル助成事業」を継続して行った結果、歩行者・自転車通行量は増加の傾向を示し、まちなか回遊の効果が表れた。

今後は、中心市街地に更なる面的効果を波及させるため、「昭和の風情漂うまちなみ再生のための賑わい交流空間整備事業」で新たな賑わい空間を整備するなど、官民一体となった中心市街地の活性化に向けた取り組みが進んでいる状況である。

2. 平成27年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成27年度は、昨年度に引続き「歩行者・自転車通行量（休日）」が基準値を上回る結果となったが、これは広域からの来訪者を増加させる「新体育館」や「高崎文化芸術センター」等を戦略的に高崎駅徒歩圏に整備するという基本方針により、新たな店舗の進出や商店のリニューアルが進む傾向が強まり、先行的な期待感が中心市街地の求心力を向上させたものと推測する。

一方、「文化施設の利用者数の合計値」は前年度から減少したが、これは、実施する催しにより左右される一定幅の範囲内であると考えられる。しかし、今後の推移が減少傾向に陥らないために魅力的な催しを継続して行い、事業間の積極的な連携を図ることで展開の強化を望む。

また、イオンモール高崎駅前（仮称）の整備では、「小売業年間商品販売額」の大幅な増加が見込まれるところであるが、これまでと同様、個店の支援を継続していくことで相乗的な中心市街地の活性化を図っていくこと重要であると考えられる。

いずれにしても、これほどダイナミックに中心市街地が変動する都市は全国的にも稀有であることから、各事業の確実な進捗と更なる活性化に向けた事業展開を期待するものである。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち	歩行者・自転車通行量 (休日)	101,411 人 (H24)	108,500 人 (H30)	106,030 人 (H27)	①	①
高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち	小売業年間商品販売額	1,172 億円 (H23)	1,460 億円 (H30)	平成 28 年度フォローアップ		
音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	文化施設の利用者数の合計値	612,251 人 (H24)	1,070,770 人 (H30)	595,239 人 (H27)	①	②

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「歩行者・自転車通行量（休日）」は、平成 25 年度からスタートした個店の魅力アップを推進する「まちなか商店リニューアル事業」、中心市街地の回遊性と賑わいの向上を図る「まちなかオープンカフェ推進事業」、「まちなかコミュニティサイクル」、その他、基本計画掲載のソフト事業が好評を得るなど、順調に推移したことで通行量が増加した。今後も継続した事業の実施により目標の達成を目指す。

「小売業年間商品販売額」については、平成 28 年度に中間フォローアップを行う予定となっているが、基本計画に掲載した事業も順調に進んでおり、各施設の整備と中心市街地への誘引施策の相乗効果で目標の達成を目指す。

「文化施設の利用者数の合計値」については、評価の対象となる高崎文化芸術センターが整備中で数値を取り入れていない。今後もその他の対象 4 施設での魅力的な催しを継続して行うとともに事業間で連携を強化するなど、引き続き増加のための施策を展開し目標の達成を目指す。

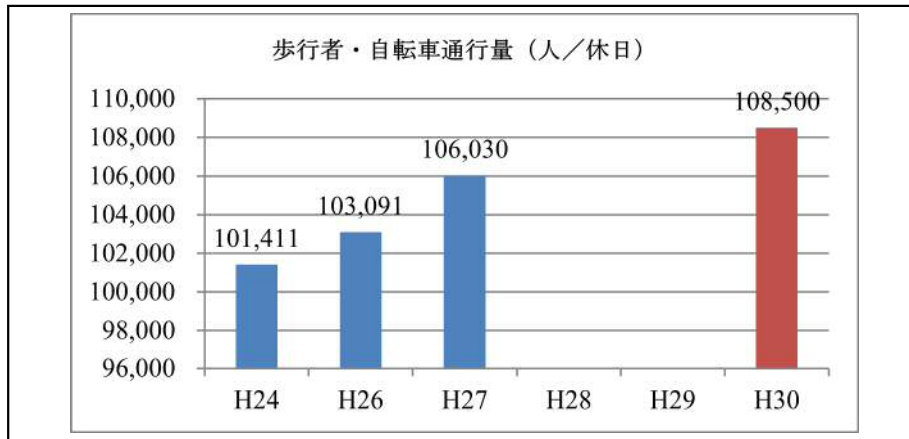
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「文化施設の入場者数の合計値」は、最新値が基準値を下回る結果となった。平成 26 年度フォローアップにおいては文化事業の充実による現況水準の継続が図られず、平成 27 年度は前年度比約 34,000 人減となったため、②の評価とした。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者・自転車通行量（休日）」※目標設定の考え方基本計画 P68～P74 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H24	101,411 (基準年値)
H26	103,091
H27	106,030
H28	
H29	
H30	108,500 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行者、10月の第4日曜日に14地点において
10時から20時まで計測

※調査月：平成27年10月

※調査主体：高崎市

※調査対象：中心市街地14地点における歩行者及び自転車の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 高崎市まちなか商店リニューアル助成事業（高崎市）

事業完了時期	平成28年度【実施中】
事業概要	市内の店舗等で新たな競争力をつけるために行うリニューアル工事にかかった費用の一部を支援する。この事業により、店舗等の魅力や集客力、賑わいや回遊性が向上し、中心市街地の活性化に寄与する。
事業効果及び進捗状況	本事業の制度を活用した割合は、市全体の約3割が中心市街地の店舗となっており、魅力ある店舗づくりが進んだことから歩行者・自転車通行量が増加した。また、制度を活用した店舗には新たなコミュニティが構築されるなど、賑わいや店舗間の回遊性の向上にも寄与している。

②. 高崎まちなかオープンカフェ推進事業（高崎まちなかオープンカフェ推進協議会）

事業完了時期	平成25年度から【実施中】
事業概要	都市再生特別措置法の改正を契機に歩道上でオープンカフェが行えるようになったことから、まちなかに新たな回遊性と賑わいを創出するため実施している事業。
事業効果及び進捗状況	本事業は、平成25年度から継続して行っており、参加店舗は開始時の12店舗から平成26年度には16店舗に増加した。新たな店舗の参加も見込まれるなど事業も着実に定着してきており、中心市街地の賑わいの向上に寄与している。

③. 高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業

(高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会)

事業完了時期	平成 25 年度から【実施中】
事業概要	まちの移動手段の多様化は都市の魅力を高めることから、新たな交通手段として実施する事業。この事業を行うことにより、中心市街地に新たな賑わいと回遊性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	本事業は、平成 25 年度から継続して行っている事業であり、自転車数が開始時の 100 台から 150 台に、サイクルポートが 12 箇所から 16 箇所に増加した。中心市街地を移動する新たな交通手段として事業も定着しており、中心市街地の回遊性の向上に寄与している。

④. 地域交流センター整備事業（高崎文化芸術センター整備事業）（高崎市）

事業完了時期	平成 30 年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、芸術文化創造の中心となる施設を整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される高崎文化芸術センターは、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。平成 28 年度に着工し平成 30 年度に完成する予定である。

⑤. 新体育館建設事業（高崎市）

事業完了時期	平成 28 年度【実施中】
事業概要	老朽化した中央体育館を移転新築し、市民が利用しやすい施設・設備とすることで、市民スポーツの普及と振興を図る。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される新体育館は、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。現在は、平成 28 年度の完成に向けて建設工事が順調に進んでいるところである。

⑥. 群馬県コンベンション施設整備事業（群馬県）

事業完了時期	平成 31 年度【実施中】
事業概要	高崎競馬場跡地に大規模展示施設、メインホール、大規模な学術会議に対応する会議室を備えたコンベンション施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される群馬県コンベンション施設は、その規模とともに催しの前後における宿泊や飲食等に大きな効果をもたらす。現在は、基本設計や埋蔵文化財発掘調査を行うなど整備に向けた準備を行っているところである。整備基本計画を見直し、事業完了を平成 31 年度としたことから計画期間内の効果は望めない状況となっている。

⑦. 高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業（高崎市）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、商業・オフィスビルを整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される商業・オフィスビル（高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業）は、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。現在は、中央体育館解体後の事業着工に向け準備を行っているところである。事業完了は平成 29 年度を目指している。

⑧. イオンモール高崎駅前（仮称）整備事業（イオンモール株式会社）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	ビブレ跡地などにイオンモール高崎駅前（仮称）を整備し、広域からの集客向上と商業拠点の機能強化を図る。
事業効果及び進捗状況	高崎駅西口のビブレが閉店し、ビブレの規模を上回る新たなイオンモール高崎駅前（仮称）の整備を行う。現在は、ビブレの解体も完了し、本体施設に着工した。事業完了は平成 29 年度中を予定している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

高崎市まちなか商店リニューアル助成事業、高崎まちなかオープンカフェ推進事業、高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業は継続して実施している事業で、認知度も高くなっていることから多くの人に利用されており、順調に進捗していると思われる。今後も、高崎駅周辺で広域からの集客効果をもたらす複数の都市集客施設の整備を進め、来訪者を様々な施策を組み合わせる相乗効果で中心市街地全体に波及させ、実績を伸ばしていきたい。

「小売業年間商品販売額」※目標設定の考え方基本計画 P75～P82 参照

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業（高崎市）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、商業・オフィスビルを整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される商業・オフィスビル（高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業）は、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。現在は、中央体育館解体後の事業着工に向け準備を行っているところである。事業完了は平成 29 年度を目指している。

②. イオンモール高崎駅前（仮称）整備事業（イオンモール株式会社）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	ビブレ跡地などにイオンモール高崎駅前（仮称）を整備し、広域からの集客向上と商業拠点の機能強化を図る。
事業効果及び進捗状況	高崎駅西口のビブレが閉店し、ビブレの規模を上回る新たなイオンモール高崎駅前（仮称）の整備を行う。現在は、ビブレの解体も完了し、本体施設に着工した。事業完了は平成 29 年度中を予定している。

③. 地域交流センター整備事業（高崎文化芸術センター整備事業）（高崎市）

事業完了時期	平成 30 年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、芸術文化創造の中心となる施設を整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される高崎文化芸術センターは、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。平成 28 年度に着工し平成 30 年度に完成する予定である。

④. 新体育館建設事業（高崎市）

事業完了時期	平成 28 年度【実施中】
事業概要	老朽化した中央体育館を移転新築し、市民が利用しやすい施設・設備とすることで、市民スポーツの普及と振興を図る。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される新体育館は、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。現在は、平成 28 年度の完成に向けて建設工事が順調に進んでいるところである。

⑤. 群馬県コンベンション施設整備事業（群馬県）

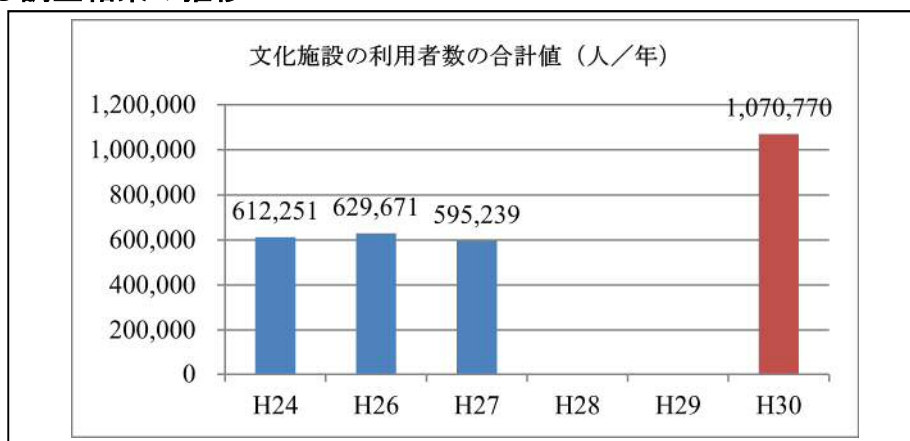
事業完了時期	平成 31 年度【実施中】
事業概要	高崎競馬場跡地に大規模展示施設、メインホール、大規模な学術会議に対応する会議室を備えたコンベンション施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される群馬県コンベンション施設は、その規模とともに催しの前後における宿泊や飲食等に大きな効果をもたらす。現在は、基本設計や埋蔵文化財発掘調査を行うなど整備に向けた準備を行っているところである。整備基本計画を見直し、事業完了を平成 31 年度としたことから計画期間内の効果は望めない状況となっている。

●目標達成の見通し及び今後の対策

目標の達成に寄与する主要事業は完成に向け順調に進捗している。今後は、経済活力の動向に影響をもたらす主要事業等について平成 28 年度にフォローアップを行い、その後の中心市街地の活性化に繋げていきたい。

「文化施設の利用者数の合計値」 ※目標設定の考え方基本計画 P83～P87 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H24	612,251 (基準年値)
H26	629,671
H27	595,239
H28	
H29	
H30	1,070,770 (目標値)

※調査方法：利用者数調査（独自調査）

※調査月：各年度の実績

※調査主体：高崎市

※調査対象：群馬音楽センター、高崎シティギャラリー、高崎市美術館、
高崎市タワー美術館、高崎文化芸術センター（整備中）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 高崎音楽祭（高崎音楽祭委員会）

事業完了時期	平成2年度から【実施中】
事業概要	高崎音楽祭は、クラシックやジャズなど、期間中はあらゆる音楽が高崎に集結し大きな賑わいを見せている。芸術鑑賞の機会を提供することで来訪者の増加に繋げるもの。
事業効果及び進捗状況	幅の広いジャンルの音楽を提供する高崎音楽祭は、群馬音楽センターや高崎シティギャラリーのほか、中心市街地のいたるところでイベントを実施しており多数の集客効果をもたらしている。平成27年度は音楽祭全体で前年度比約1,200人増加している。

②. 地域交流センター整備事業（高崎文化芸術センター整備事業）（高崎市）

事業完了時期	平成30年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、芸術文化創造の中心となる施設を整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される高崎文化芸術センターは、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。平成28年度に着工し平成30年度に完成する予定である。

③. 企画文化事業（高崎市）

事業完了時期	平成26年度から【実施中】
事業概要	高崎の文化性、ブランド力の中核となる群馬交響楽団の演奏会や国内外のエンターテインメント性の高い芸術鑑賞の機会とともに、市民の文化活動の成

	果を発表する場を提供することで広域からの集客向上を図る。
事業効果及び進捗状況	群馬交響楽団では年間9回の定期演奏会のほか、年間約30回の依頼演奏会を実施している。また、中心市街地のカフェで「Café パーティーwith 群響メンバー」を開催するなど、活性化に寄与する事業を展開している。このCafé パーティーwith 群響メンバーの平成27年度の利用者は127人で前年度とほぼ同じ水準だが楽しみにしているファンは多く、着実に事業が定着してきている。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「文化施設の入場者数の合計値」は、基準年値を下回る結果となった。しかし、評価対象4施設（群馬音楽センター、高崎シティギャラリー、高崎市美術館、高崎市タワー美術館）の稼働率に大きな変化が見られないことから、今後も魅力的なイベント実施と事業間の連携に努め入場者数の増加を図る。また、整備が本格化する高崎文化芸術センターは、音楽専用ホールで文化芸術の創造拠点として広域からの誘客を見込んでいる。今後は掲げた目標を達成するため、建設中の新体育館や整備を予定している群馬県コンベンション施設で見込まれる利用者等に各種情報発信の手法を研究するなど文化施設への誘引・誘客を図っていく。